

■最上義光 武將。常に最強権力者に従い、現在の山形県全体の支配を確立し、城下町山形を形成し産業を振興した。

もがみよしみつ

足利義輝將軍1546＝ 足利氏と同族の源氏で尊氏を助けて活躍した出羽探題斯波兼頼に始まる最上氏の義守の長男に生まれる。

ザビエル来日1549＝ 3歳：

大陸邦民事件1555＝ 9歳：

桶狭間の戦い・1560＝14歳：元服し、將軍足利義輝の一字を与えられ、最上義光を名乗る。

川中島最激戦1561＝15歳：父に従って高湯温泉に出かけて、数十人の野盗に襲われた際、2人を切倒し、他を追い散らして父から褒められるほど、**体格・頭脳・武勇に優れ**

大村純忠受洗1563＝17歳：父に従って、初めて上洛し、將軍に拝謁。

川中島の戦い終1564＝18歳：

織田信長入京1568＝22歳：

石山合戦始・1570＝24歳：この頃から、家督相続について、父子・兄弟があい争う事態となり、家臣も両派に分かれて戦い始め、

比叡山焼討・1571＝25歳：父が出家して隠居し、家督を相続して決着するも、

室町幕府滅亡1573＝27歳：

長島一揆鎮圧1574＝28歳：弟義時が自分を呪詛したことが露見、伊達輝宗と和を結んで弟の居城を攻め、義時を自刃させる。

安土楽市楽座1577＝31歳：天童城主最上頼澄を討ち、上杉景勝・伊達政宗らと抗争。

石山合戦終・1580＝34歳：最上川の三難所を整備し、通船の便を図る。

パリヤーノ謁見 1581＝35歳：最北の真室城主銚延秀綱らを攻めて、家臣に組み入れ、

本能寺の変・1582＝36歳：本能寺の変が起こるや、

賤ヶ岳の戦い・1583＝37歳：庄内の豪族武藤氏や仙北の領主小野寺氏を攻撃して、領地を大幅に拡大。

長久手の戦い・1584＝38歳：***織田信長の権力を背景に自らのルーツを侵していた白鳥長久を陰謀によって殺害。続けて、白鳥氏の谷地城と加担していた寒河江城主大江一族を攻略し、一族ながら反義光だった天童城主最上頼久を攻め、東根城・楯岡城も落とし、ついに最上・村山の統一支配を確立。**

秀吉太政大臣1586＝40歳：山寺立石寺に土地を寄進するなど、**寺社の保護修復に努め、民心の安定化を図って、強固な領国を形成。**

パレノ追放令 1587＝41歳：庄内に出陣し、大宝寺義興を討つ。

刀狩海賊取締1588＝42歳：伊達政宗の大崎(最上義隆)攻めに対し援軍を送り、戦闘態勢になるが、妹義姫の尽力で和睦。本庄繁長と庄内十五里ヶ原で戦い敗れる。

秀吉全国統一1590＝44歳：***豊臣秀吉の小田原攻めに参陣、父義守が死去するも、本領を安堵される。**

士農工商公布1591＝45歳：従四位下侍従となり、雄勝郡を加増され、出羽侍従と称される。**山形城の拡大整備に着手し、**

文禄の役・1592＝46歳：文禄の朝鮮役には肥前国名護屋に在陣。**広大な三の丸を増築するとともに、城外に家臣団の屋敷を配置。街道や職人町などを整備するとともに、産業振興にも力を入れ、有数の城下町を形成して行く。**

方広寺大仏殿1593＝47歳：連歌会を主催。

ルッ島通交・1594＝48歳：狩野宗秀筆「一遍上人絵巻」10巻を光明寺に寄進。伏見城工事を分担、山形城十三万石を領した。

関白秀次事件1595＝49歳：**豊臣秀次事件に際し、娘が秀次の側室だったことから謹慎を命ぜられる。**

26聖人殉教・1596＝50歳：横手城主小野寺義道と戦う。慶長の大地震に際して、徳川家康を警護。

慶長の役・1597＝51歳：京都で著名文人とともに連歌の会を催す。

関ヶ原の戦い・1600＝54歳：**関ヶ原の戦いでは東軍に属し、結城秀康を援けて上杉景勝と戦い、**

朱印船制始・1601＝55歳：戦後、***功により庄内も領することになり、五十七万石となる。**

江戸城完成・1606＝60歳：庄内の田野を活かすべく、鶴ヶ岡城代の新関久正に治水工事を命じ、

家康駿府退隠1607＝61歳：

島津琉球支配1609＝63歳：

山田長政渡航1611＝65歳：左近衛少将兼出羽守に任ぜられる。

キリシ教禁止・1612＝66歳：難工事だった堰の開削がようやく実現したのを見て、

大坂冬の陣・1614＝68歳：**没した。**